

## ISO 審議状況の要点（2008年8月1日から2009年7月13日までの変遷）

### （1）大気専門委員会（TC146）

#### ●固定発生源（SC1）

- ・「排ガス中のPM10/2.5の定量」に対し、「インパクターによる低濃度の測定」は旧プロジェクトを廃し、新たなプロジェクトとして検討され始めました。
- ・「排ガス中のPM10/2.5の定量」に対し、「サイクロンによる高濃度の測定」は廃止され、代わりに「バーチャルインパクターを用いた40mg/m<sup>3</sup>以上の濃度測定」が検討され始めました。

#### ●作業環境（SC2）

- ・位相差光学顕微鏡による浮遊無機質性粒子繊維の全濃度定量（メンブレンフィルター法）が検討され始めました。
- ・粒子状降下物の採取基準が検討され始めました。
- ・二重フィルター採取とHPLC分析による空気中のイソシアン塩酸の定量が検討されています。
- ・収集エアロゾルの秤量誤差の制御及び特性付けは廃止されました。

#### ●周囲空気（SC3）

- ・オゾン分析器の校正が発行されました。

#### ●一般事項（SC4）

- ・時間平均排出量と排出係数が検討されています。

#### ●室内環境（SC6）

- ・ホルムアルデヒドの測定に関し、拡散サンプリング法が検討され始めました。
- ・Tenax TA 吸収剤を用いた揮発性有機化合物の定量が検討されています。
- ・二酸化炭素のサンプリング計画が検討されています。
- ・PCDDs/PCDFs の定量に関する吸着剤含浸フィルター捕集法が発行されました。
- ・PCB や PCDD/PCDF の定量に関し、高分解能ガスクロマトグラフ質量分析法による抽出、クリーンアップ及び分析が発行されました。
- ・カビ（糸状菌）の同定及び菌数測定（ろ過捕集による試料採取）が発行されました。

## (2) 水質専門委員会 (TC147)

### ●放射能測定 (WG4)

- ・ストロンチウム 90 とストロンチウム 89 の測定法が検討されています。
- ・ $\alpha$ 線スペクトロメトリによるポロニウム 210 放射線濃度の測定が検討されています。
- ・カーボン 14 放射線の定量 (液体シンチレーション計数法) が検討されています。
- ・非塩水中の総 $\beta$ 放射能測定—濃厚源法が発行されました。
- ・水のオンラインセンサ/分析機器 (仕様及び性能試験) が発行されました。
- ・水分析における完成試験キットによる方法の選択及び適用が発行されました。

### ●物理的・化学的・生物的方法 (SC2)

- ・水銀の定量 (濃縮、非濃縮試料の原子吸光法測定法) が検討されています。
- ・「連続流れ分析による全シアン及び遊離シアンの定量」は2分割され、「流れ注入分析(FIA)による方法」として検討されています。
- ・「連続流れ分析による全シアン及び遊離シアンの定量」は2分割され、「連続流れ分析(CFA)による方法」として検討されています。
- ・化学的・物理化学的な水質分析の品質管理指針は、化学的及び物理化学的水分析のための分析的品質管理の手引として発行されました。
- ・メチレンブルー活性物質(MBAS)指数の求め方 (連続流れ分析(CFA)による方法) が発行されました。
- ・分析化学試験所の技能試験のための試験所間比較が発行されました。
- ・グリホサート及び AMPA の定量 (HPLC 及び蛍光光度検出を用いる方法) が発行されました。
- ・ノニルフェノールの異性体別の定量 (固相抽出及び GC/MS) が発行されました。
- ・PFOS 及び PFOA (固相抽出及び液体クロマトグラフィ/質量分析を用いる未ろ過サンプルのための方法) が発行されました。

### ●微生物学的方法 (SC4)

- ・ポリメラーゼ連鎖反応による濃縮と遺伝子の増幅(RT-PCR)によるレジオネラ及びニューモフィラの検出と定量が検討され始めました。

### ●生物学的方法 (SC5)

- ・単細胞緑藻類による淡水藻類の成長阻害試験が検討され始めました。
- ・微小緑藻類 (アナアオサ) の繁殖阻害に基づく毒性試験が検討され始めました。
- ・魚の生化学的及び生理学的測定 (ビテロジェニンの測定) が検討され始めました。
- ・藻類群の成長抑制試験の科学的及び技術的側面が発行されました。
- ・ニセネコゼミジンコへの慢性毒性の求め方が発行されました。
- ・48 時間におけるツボワムシへの慢性毒性の求め方が発行されました。

●サンプリング（SC6）

- ・試料の保存と取扱いの指針が検討されています。
- ・地下水のサンプリングの指針が発行されました。
- ・大量の汚濁物質のサンプリングに関する手引が発行されました。